

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

# 伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>  
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



坂の下から見える紅葉の木々（伯耆しあわせの郷）

「県立美術館の建設工事が始まります」  
 最近ぐっと気温が落ち冬の到来を思わせる季節となりました。コロナウイルス感染状況もびつくりするくらい落ち着いてきており、専門家でもはつきりとした理由が解らない様です。さて、この時期は例年であれば、大きな文化・スポーツイベントが開催されますが、当施設でもペタンク大会は大事を取って中止としましたし、国際交流フェスティバルも中止となりました。この様にいまだにコロナの影響を受けていることには変わりはありません。今月は、パッチワーク展などの活動報告や1月開講のスポーツ系教室のご案内等です。また、県民待望の県立美術館建設工事が始まります。県民の期待に応えて県が決断頂いたものです。伯耆しあわせの郷も「未来をつくる美術館」のコンセプトの一翼を担い、共につくり上げていく県立美術館に参画したいものです。

## 受講生募集

※申し込みは、12月1日（水）から先着順にて受付け、定員になり次第締め切ります。

※受講料は初回前納。納入された受講料は原則返金いたしません。

※受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
はじめてのパン作り教室①② 「シュトーレン他」 管理栄養士 小田 秀さん	① 12月16日（木） ② 12月18日（土） 13:00～16:30	1回	各14名	600円 (要材料費)
韓国料理を作ろう！ 「ヤクシク（韓国式おこわ）他」 調理師 西尾 春代さん	12月12日（日） 10:00～13:00	1回	25名	600円 (要材料費)

### \*\*今月の休館日\*\*

12月6日（月）、12月13日（月）、12月20日（月） 12月27日（月）  
 12月29日（水） 12月30日（木） 12月31日（金）

\*12月28日（火）は5時閉館。

\*年始は1月4日より開館致します。

# 1月開講教室 受講生募集

◎受講の申し込みは↓

**12月1日(水)の午前9時から**先着順に受け付け、定員になりしだい締切ります。

教室名	日時	期間	定員	講師	受講料 (回数)
3B体操教室①	毎週火曜日	1月～3月	25名	前田 泰子さん	6, 100円 (10回)
	午前10時15分～11時45分				
3B体操教室②	毎週木曜日	1月～3月	25名	福井 留実さん	6, 100円 (10回)
	午前10時15分～11時45分				
3B体操教室③	毎週木曜日	1月～3月	25名	福井 留実さん	6, 100円 (10回)
	午後2時～3時30分				
※ 3 B用具を使って楽しく運動を継続することで、自然と筋力がつき代謝を高めます。					
3Bストレッチ教室	毎週火曜日	1月～3月	25名	川内 千恵子さん	6, 100円 (10回)
	午後2時～3時15分				
※ 3 B用具を使って、心と体のリフレッシュを一番の目標に、音楽に合わせて楽しく体を動かす教室です。					
ヨーガ教室	毎週木曜日	1月～3月	30名	桑本 聡子さん	7, 320円 (12回)
	午後7時～8時				
※ 体の動きと呼吸をあわせて、筋肉の緊張を解きほぐし、心身の調和をはかっていきます。					
ハワイアンフラ教室①	毎週水曜日	1月～3月	20名	礒江 由美子さん	7, 320円 (12回)
	午後1時～2時15分				
ハワイアンフラ教室②	毎週水曜日	1月～3月	20名	礒江 由美子さん	7, 320円 (12回)
	午後2時45分～4時				
※ ハワイアンのリズムにのせてゆったり踊るうちに、心も身体もよくほぐれ、自然に足腰が鍛えられていきます。					
煎茶教室	毎週金曜日	1月～3月	15名	森 翠美さん	5, 850円 (9回)
	午後1時～4時				
※ 小笠原流煎茶の『お点前の美しさ』を体得してみませんか。美しい礼儀作法、おもてなしの心が学べます。					

- 受講料は初回全納です。納入された受講料は原則として返金しません。
  - 受講料のほかに、スポーツ保険料(※表示している受講料は保険料込です)、材料費などが必要です。
  - 教室は一部変更または中止になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
  - 託児を希望される場合は、教室申し込みのときにご相談ください。(料金：1回 200円/1人)
- (\*ヨーガ教室はお受けできませんので、予めご了承ください。)

## 県展巡回展が開かれました

第 65 回鳥取県美術展覧会の受賞・応募作品など 8 部門・534 点の展示が、倉吉博物館で 11 月 6 日～23 日まで開催されました。当館の教室受講者では、織物教室の牧野有孝さん(受賞候補)、森岡正子さん、芦達憲子さん、写真教室の井上英明(受賞候補)、中村武さん、絵画教室の本内宏さん、井之上玉代さんの作品が展示されました。



## 日本南宗会展が開催されました

当館水墨画・日本画教室の中川端月先生が会長を務める日本南宗会の展覧会が、11月20日～25日まで、コミュニティプラザ百花堂で開催されました。中川先生の作品のほか、教室受講者の佐々木利夫さん、吉井路子さん、松田幸人さんらの作品が出品され、多くの来場者が力作に見入っていました。



## パッチワーク展開催 10月30日～11月14日

毎年好評のパッチワーク展を10月30日～11月14日まで開催し、多くの方にご来場いただきました。

特に11月10日に日本海新聞に紹介記事が掲載されてからは、連日たくさんの方にご来場いただきました。パッチワークのサークルの皆さんで、お越しになった方は「日本海新聞を見て来ました。皆さん上手に作られていますね。」と感動されていました。  
ご来場ありがとうございました。



## 千支つくり教室開催

11月20日、ちりめん細工千支つくり教室を開催しました。

来年の千支の「寅」をちりめん細工で作りました。参加者の中にはリピーターの方も多く、今年で十二支の内一個を作った方や、お世話になった方に家で作って配ってあげるなど、余分に材料を購入される方などおられ、和気あいあいと楽しい教室となりました。



## 第33回倉吉市文化団体協議会連合展に参加されました

10月24日～10月31日まで、倉吉博物館で開催された第33回倉吉市文化団体協議会連合展に、水墨画・日本画教室、絵画教室、織物教室、竹細工教室の有志の方が参加し、力作を展示されました。



## 第68回日本伝統工芸展に入選されました

日本工芸会最高の作品展である、第68回日本伝統工芸展に織物教室 福井貞子先生が入選されました。

入選作品は、第64回日本伝統工芸展中国展で「日本工芸会賞」を受賞された古川春美さん（織物教室受講者）の作品とともに、岡山県立美術館で11月18日～12月12日まで展示されています。

また、11月27日には、

会場にて、「染織についてのお話」として福井先生が作品解説を行われました。



入選作 木綿手紡緋着物「五月雨」

## 腐葉土無料配布のお知らせ



配布日 令和3年12月7日（火）  
時間 AM9:00より  
配布場所 多目的広場 入口付近  
配布数量 1人につき土のう1袋まで  
持ち物 各自袋をご持参ください  
※なくなり次第終了とさせていただきます

## 3B体操50周年大会に参加されました

11月7日（日）、三朝町総合スポーツセンターに於いて、（公社）日本3B体操協会創立50周年記念鳥取県大会が開催されました。参加者約220人の中には、しあわせの郷の4つの3B体操教室の皆さんの元気な姿があり、『楽しさ求めて心がはずむ、未来へつなごう健康の輪』のスローガンのもと、楽しく有意義な時間を過ごされました。



## 鳥取県・ロシア沿海地方友好交流30周年展開催：鳥取県立図書館

10月15日～11月29日まで県立図書館で開催された鳥取県・ロシア沿海地方友好交流30周年展では、当館、織物教室の交流の様子が展示されました。織物教室では、2013年と2018年の2回

にわたり、沿海地方国立美術館にて倉吉絣展示会や織物体験・草木染体験

など開催しました。また、多くの訪日団が当館に訪れ織物を介して

多くの交流を行い日本の文化の紹介

をしました。



## 県立美術館今年度より工事開始！令和7年春開館！



美術館の目的・コンセプトは...

「未来を『つくる』美術館」



建設が今年度から開始され約2年かけ大御堂廃寺跡に出来上がります。

その後令和6年には、様々な準備がなされ、令和7年春には開館します。人口最小県の鳥取県にとって、県立の美術専門展示施設を持つと言う事は簡単なことではありませんでした。総工費142億円をかけて作られる県立美術館を最大限生かせる様、私たちも意識を持っていきたいものです。

### 編集後記

10月のエスポワール展(絵画教室作品展)に続き、パッチワーク教室作品展においても、例年を上まわる多くの皆様のご来場をいただき誠にありがとうございました。特に日本海新聞でご紹介いただいた以降はさらに増えたと思われまます。先月来、ようやくコロナ第5波の出口が見えかけたこの時期だから、多くの方々がコロナ自粛からの出口を新聞等に求めて楽しんでいただけたのであれば、大変嬉しく思うところです。

さて、コロナ、コロナと言っているうちに今年も師走、ただし、6波が来る前の今の鎮静化している状況が続いているうちに3回目のワクチン接種が進み、経口薬等治療法が身近なものになってくれば、いよいよウィズコロナの時代が本格化するかもしれません。生活様式が変わったとしても基本的な対策は当然必須でしょうけど。さらにはこのコロナ禍で2倍になったというメタボ対策も。自己管理を。

(H)